

令和7年度 神戸市政に対する要望書を提出

中小企業の事業継続やビジネス変革支援、神戸空港国際化に向けた対応強化などを要望

当商工会議所は、「令和7年度神戸市政に対する要望」を取りまとめ、9月25日、川崎会頭より久元市長・坊市会議長らに要望書を提出した。

神戸市政に対する要望活動は、次年度の市の施策や予算措置に商工会議所の意見を反映させるため、毎年実施している。今回は、「中小企業のビジネス変革・新事業展開支援」を筆頭に、「中小企業の事業継続に向けた持続的支援」「神戸空港国際化に向けた対応」「都市基盤の整備」など全26項目を要望した。

要望の席上、川崎会頭は、神戸経済の持続的発展に向け、変化・変革に取り組む企業への後押しとともに、コンベンションセンターの再整備や南北アクセスの強化など、都市の価値を高める事業に中長期的な目線で取り組むことを要望。また、来る大阪・関西万博や神戸空港の国際化を契機に、神戸の魅力がグローバルにも認知されるよう、国内外への情報発信の強化を訴えた。

久元市長は、「原材料価格の高騰や人手不足に対応する中小企業支援、さらには神戸以西の需要開拓など、あらゆる課題に対して商工会議所と連携しながら着実に前へ進めていきたい」と応じた。

当商工会議所では、今後も経済動向や国際情勢の影響を注視しつつ、適宜、地元行政に対し意見要望活動を行っていく。



久元市長（左）に要望書を手交する川崎会頭



坊議長（中央）、堂下副議長（左）に要望

要望事項

1. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

- (1) ビジネス変革・事業再構築への支援
- (2) 中小企業のデジタル化・DX推進、セキュリティ対策強化に向けた支援
- (3) AIなどの先端技術のビジネス活用や社会実装の推進
- (4) 中小企業・スタートアップの知的財産活用の推進
- (5) 中小企業の販路開拓・国内や海外ビジネス拡大に向けた支援
- (6) 中小企業の脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

2. 中小企業の事業継続に向けた持続的支援

- (1) 原材料高騰やコストアップの影響を受ける中小企業などへの支援強化
- (2) 多様な人材の確保に向けた支援
- (3) 円滑な事業承継支援
- (4) 地域商業の活性化に向けた支援

3. 神戸空港国際化に向けた対応

- (1) 神戸空港の利用促進・プロモーション強化
- (2) 神戸空港の規制緩和・撤廃に向けた働きかけ強化
- (3) 新ターミナルのプロモーション強化ならびに既存ターミナルの拡充検討
- (4) 時間軸・需要を見据えた南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の検討

4. 都市基盤の整備

- (1) MICE誘致強化による神戸の都市価値の向上とポートアイランドの活性化
- (2) 都心・三宮の再整備加速化
- (3) 神戸港の国際競争力強化と安心・安全・魅力あるみなとづくりの推進
- (4) 道路ネットワークの早期整備

5. まちの賑わい創出

- (1) 神戸固有の自然資産などを活用した観光振興
- (2) インバウンド誘客促進に向けた支援
- (3) スポーツを核としたまちの魅力創造
- (4) 万博閉幕後を見据えた誘客プロモーションの展開

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

- (1) 神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化
- (2) 地域経済を牽引するスタートアップ支援と次期エコシステムの実現
- (3) 神戸医療産業都市の産業化推進
- (4) 生活文化産業の振興

9.4 展示会の効果的な活用手法を学ぶ

販路拡大プロジェクト 展示会活用方法伝授セミナー



展示会やマルシェを活用し、新たな販路を開拓するための方法を学ぶことを目的に、ワーキングセミナーを開催した。

講師のfour-plus. 黒田ユキ氏は、展示会やマルシェの概要、バイヤーへの効果的なアプローチ方法について説明。魅力的な商品陳列の方法など、実際に展示会で使う備品なども活用しながら解説した。

参加者からは、「展示会成功に必要なノウハウを学ぶことができた」「展示会で成約率を上げるためのポイントを整理できた」との声が聞かれた。

中央支部

9.5-6 西日本最大級総合展示会に515社が出展

国際フロンティア産業メッセ2024



当商工会議所や兵庫県・神戸市・NIROなどで構成する実行委員会は、「国際フロンティア産業メッセ2024」を神戸国際展示場で開催した。

DXやドローン、ものづくりなど先端技術の紹介のほか、(株)メディカロイドの手術支援ロボット「hinotori」や小惑星探査機「はやぶさ2」により採取された「小惑星リュウグウの粒子」を展示。また、パナソニックホールディングス(株)の宮部副社長による特別講演などが行われた。

今年度は過去最高の515社が出展。2日間で約15,400人が来場し、関心の高さが伺えた。

産業部産業振興チーム

9.4 スタートアップ支援拠点と連携したミートアップイベント

Harbor Pitch -SPARK-



起業プラザひょうご、ANCHOR KOBE、hoops link kobeと共同で、兵庫・神戸で起業や新規事業に挑む人たちが集うミートアップイベントを開催した。

リノベーション会社とエンドユーザーのマッチングサイトを運営する(株)フルリノ、オフィスのレイアウトや内装工事を行う(株)ナガサワ文具センター、独自のAI・IoT・Roboticsの技術でDX化を支援する(株)オプティムなど13社が登壇し、自社技術をアピールした。

参加者らは地元企業の取り組みについて理解を深め、ピッチ後には活発な交流が行われた。

産業部産業振興チーム

9.6 人材の選び方を学ぶ

中小企業のための失敗しない採用方法(第2回)



人手不足に悩む中小企業の採用活動を支援するため、社会保険労務士法人キラリスの社会保険労務士 土肥めぐみ氏を講師に迎えセミナーを開催した。

全3回シリーズの第2回となる今回は、人材の選定方法に焦点を当て、選考基準の設定方法、面接で行うべき質問や避けるべき質問、採用試験を行う際のポイントなどを解説した。

参加者からは、「すぐに実践できる内容が多く、採用活動に役立つ」との声が聞かれた。

中央支部

9.20 水道筋商店街を巡り 灘の魅力を発見

東神戸支部 会員交流会



会員事業所間の交流を促進し、灘区の魅力を再発見するため、会員交流会を開催した。

講演会では、地元商店街や摩耶山など灘区を舞台に数々のイベントを手がける(有)六甲技研代表取締役の慈憲一氏を講師に迎え、「まちづくりからまちあそびへ」をテーマに、街を楽しみながら地域活性化につなげるユニークな取り組みを紹介。その後、慈氏がガイドとなり水道筋商店街周辺の見所を巡るツアーを実施した。

ツアー終了後には名刺交換会を開催し、参加者相互の活発な交流が行われた。

東神戸支部

9.26 「モスバーガーの理念経営」に学ぶ

中小企業Web研修事業 特別講演会



中小企業Web研修事業の特別企画として、大手ハンバーガーチェーン(株)モスフードサービス元会長の櫻田厚氏を招き、講演会を開催した。

櫻田氏は、自身の生い立ちや仕事人生を「人を喜ばせたい、その一心で歩んできた」と振り返り、「人生70年モス50年」で学んだ経営哲学は顧客・株主・従業員との信頼を積み重ね、会社のファンを増やしていくことであると語った。

また、「神戸には規模に関わらずブランド力が高い会社が多い。将来を担う、地域に愛される会社作りを目指してほしい」と参加者にエールを送った。

会員事業部事業推進チーム

9.24 須磨海浜公園のスポーツ利活用を学ぶ

神戸スポーツ産業懇話会 第23回例会



神戸商工会議所が事務局を務める神戸スポーツ産業懇話会は、2024年6月に全面開業を迎えた「須磨海浜公園」の視察説明会を実施した。

当日は、神戸市建設局から再整備の経緯や狙いについて説明を受けた後、幅広い世代が日常的に運動のため利用できる「西エリア」や神戸須磨シーワールドの一部施設を視察。企業内のレクリエーションなど、海岸を活用したイベント利用の可能性について学びを深めた。

視察終了後は懇親BBQを開催。企業、業種の枠を越えて積極的に交流する様子が見られた。

産業部産業振興チーム

9.27 価格交渉の最新動向と対策について学ぶ

価格交渉の進め方とポイントセミナー



原材料、エネルギー価格などの高騰が続く中、コスト上昇分の価格転嫁が喫緊の課題となっている中、価格交渉の最新動向や交渉のノウハウについて学ぶセミナーを、神戸新聞社と共催で開催した。

講師の中小企業診断士・津賀弘光氏は、「価格交渉を進める機運が出ており、この機会を生かすべき」と現状を分析。交渉にあたっては、「自社製品のコスト把握と目標利益を設定した上で、業界統計資料や交渉先の経営方針、業績動向など事前の情報収集が重要」と強調した。

中小企業振興部振興チーム